

平成26年第4回燕市議会定例会

一般質問日程表

質問日		質問者			質問方式	
					一括質問	一問一答
12月11日 (木)	午前	1	長井由喜雄 議員		○	
		2	田辺 博 議員		○	
	午後	3	樋浦 恵美 議員		○	
		4	埴 豊 議員		○	
12日(金)	午前	5	藤井 秀人 議員		○	
		6	大原 伊一 議員	○		
	午後	7	山本 知克 議員	○		
		8	齋藤 信行 議員	○		
		9	白井 丈雄 議員	○		
		10	渡邊 広宣 議員		○	
15日(月)	午前	11	渡邊 雄三 議員		○	
		12	土田 昇 議員		○	
	午後	13	堀 勝重 議員	○		
		14	小林 由明 議員		○	
		15	吉田 勝利 議員	○		
16日(火)	午前	16	大岩 勉 議員		○	
		17	宮路 敏裕 議員		○	
	午後	18	山崎 雅男 議員		○	
		19	山崎 光男 議員	○		
		20	タナカ・キン 議員		○	

平成26年第4回燕市議会定例会「一般質問表」

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	1. 防災対策と訓練実施の在り方について	(1) 燕市総合防災訓練実施の評価について	①11月9日に行われた総合防災訓練は、これまでの地域や学校区を範囲としたものではなく「全市」を対象として行われたが、実施した訓練から見えてきた課題、問題点、改善点など、訓練をどう評価しているか伺う。
			(2) 水害、地震など、今後の総合防災訓練の在り方について	①災害の種類、時間帯などによって避難の形態は様々であると思うが、各種を想定したものでなければいざというときには適切な行動をとることができないことになる。市としては、防災と避難について市民意識の高揚をどう図るか。また地域単位の自主防災組織をはじめ企業単位の防災組織など、今後の訓練の在り方についてどのように考えるか伺う。
		2. 介護保険について	(1) 第6期介護保険計画について	①第6期介護保険計画作成の前提として、現在の施設整備状況と介護要求から、どのような整備課題があげられるか伺う。
				②572人とされる特養待機者に対し、どれくらいの整備を盛り込もうと考えているか伺う。
				③将来の介護環境を見据える中で、燕工業高校跡地は燕市の福祉ゾーンとして位置づけて活用を検討することが最適であると考え。特別養護老人ホームを中心として施設整備計画を盛り込むことを提案するがいかか。
				④現在の介護利用においても、お年寄りの年金種別などによる所得の状況によって介護利用に格差が生まれていると考える。保険者として所得に対しての利用状況把握はされているか。また、国民年金でも入れる特養の建設が求められているが、市としての考えを伺う。また、晩婚化と未婚者の増加の中で中高年の子が親を介護する例も増加しているのではないかと。状況の把握と課題、対応について伺う。
(2) 燕市における施設介護者の状況と人材の確保について	①今後の施設整備を進める上でも介護人材の確保と育成は介護サービス提供の要となるが、市内施設の介護従事者の待遇など、現状を保険者は把握されているか。また施設介護者に求められる資格と現状についてはどうなっているか。介護福祉士の育成などに対し、市として資格取得に補助制度を設けるなど、人材確保に対して保険者として対応していくことも必要と思うが考えを伺う。			
	(3) 医療・介護総合法具体化に向けた「ガイドライン案」について	①医療・介護総合法可決後、国は7月に具体化に向けた「ガイドライン案」を示したが、これに対する保険者の考えを伺う。		

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
1	長井由喜雄(一問一答方式)	3. 市の非正規職員の現状について	(1) 非正規職員の現状と処遇の改善について	<p>①非正規職員配置の基本的考えと、処遇についての考えを伺う。</p> <p>②非正規職員の中で臨時職員の時給は780円のままとなっている。不安定雇用のもとでさらに物価高、消費税率の引き上げなどもあり実質大きな目減りとなっている。時給の引き上げが必要ではないか。また嘱託職員も同様のことが言える。嘱託職員賃金の改善が必要ではないか。</p> <p>③事務職として採用される臨時職員は年数にかかわらず時給が同じとなっている。経験年数に応じて時給の引き上げが必要ではないか。</p> <p>④長期の雇用や継続が前提となっている非正規職員に「産休」が認められている自治体もある。燕市も同様に処遇の改善を求めるが考えを伺う。</p>
2	田辺博(一問一答方式)	1. 福祉について	(1) 市民の要望の多い、百床規模の特別養護老人ホームの建設について	<p>①施設入所待機者572名、市長はこの数字をどう思われるか。</p> <p>②旧燕工業高校の跡地を利用して、百床規模の特別養護老人ホームをつくるべきと思うが。</p>
			(2) 障がい者(児)とその家族の要望への的確な対応について	<p>次の事についてどのように思われるか。</p> <p>①重度障がい児が利用できるデイサービスや施設を増やす事について。</p> <p>②家に来て直接話を聞いてくれる相談員がほしいがいかがか。</p> <p>③障がい者の働く所を増やす事について。</p> <p>④障がい者に医療費の負担軽減や療育手帳Bの方にもAの方と同様なサービスができないか。</p> <p>⑤生まれながら障がいがある人で、家族で介護されている人は、燕市でおられるか。</p>
3	樋浦恵美(一問一答方式)	1. 子育ての支援について	(1) 母子を支える産後ケアについて	<p>①近年、核家族化が進み、地域との交流も希薄化している中で、不安を抱えたまま母親としての育児がスタートするケースが多くなっています。出産直後の母子の心身の健康をサポートする「産後ケア」の強化が重要で、出産や育児に関する不安を少しでも取り除く体制整備が急がれます。燕市における産後ケアの現状について伺います。</p> <p>②「産後母子ショートステイ」「産後母子デイケア」についての考えを伺います。</p> <p>③保健師による訪問支援の現状と対策について伺います。</p>
		2. 防災対策について	(1) 「命の大切さ」を学ぶ防災教育について	<p>①県教育委員会は、平成24年度学校教育の重点(幼稚園・小中学校・特別支援学校)の努力事項に、新たに「防災教育」の重要性を示しました。平成26年度より、県下全ての小中学校で新潟県防災教育プログラムに基づく授業を実施するとの事ですが、燕市の取り組み状況を伺います。</p> <p>②実施された成果と、今後の課題について伺います。 (次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
3	樋浦 恵美 (一問一答方式)		(2) 防災意識を高める「防災運動会」について	①大規模災害時には、自助・共助の力が何より重要であり、防災力を高めるには地域コミュニティの強化が必要です。 他自治体では、防災の要素を取り入れた運動会を開催している所もあります。 燕市においても防災運動会の取り組みはできないか、考えを伺います。 ②学校や地域で開催される運動会で、防災意識を向上させる競技の実施を取り入れる事はできないか、考えを伺います。
4	埴 豊 (一問一答方式)	1. 財政問題について	(1) 公債費及び起債残高の推移について	①平成 26 年度予算では 49,884,436 千円、平成 25 年度予算では 45,411,603 千円、平成 24 年度予算では 42,237,855 千円と大幅に増加しており、今後の見通し、特例債、臨対債など政府の保証があるのかについて。
			(2) 地方交付税の今後について	①地方交付税に含まれる公債費償還と通常の地方交付税確保の見通しについて。
			(3) 財政調整基金について	①なぜ基金を積み上げてきたのか。 ②今後の財政運営に十分なものと言えるのか。
			(4) 行財政改革について	①さらなる行革とリストラの可能性について。
		2. 広域 6 号線の交通安全対策について	(1) 通学路安全確保について	①西燕駅西側踏切より北側に歩道が無いこと。 ②横断歩道を越えても危険なこと。 ③降雪時さらに困難な状況になること。
		3. 教育問題について	(1) いじめと不登校について	①いじめと不登校の小、中別の状況について。 ②不登校からの状況改善について。
			(2) 学力向上について	①NRT の結果と中学校の改善状況について。 ②今年度より高校入試のシステム変更と各中学校での対応の体制づくりについて。
5	藤井 秀人 (一問一答方式)	1. 庁舎統合後について	(1) 統合後のプラスの面について	①業務を集約した事によって具体的に数字の上でどのように改善をはかれたか市の考えを伺いたい。
			(2) 統合後のマイナスの面について	①統合後、市民への行政サービスの低下を感じるが、どのような認識をもっておられるか市の考えを伺いたい。 ②分水・燕のサービスセンター機能の住民による要望に対して業務の拡大をしていく考えを持っているか、市の考えを伺いたい。
		2. 安心安全なまちづくりについて	(1) 防犯灯の管理状況について	①各自治会内は LED の設置により問題はないように思うが、日が短くなり市道に設置の防犯灯が切れている箇所が目立つ。市の管理体制がどのようになっているのか現状を伺いたい。 ②国道・県道・市道の管理上の区分けはどのようになっているのか。特定の管理者はいるのか伺いたい。

発言の順序	発 言 する 議員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
6	大原 伊一 (一括質問方式)	1. 特例債事業5年延長について	(1) 特例債事業もほぼ終わったが5年延長する中でどの様な事業を想定されているのか	① 5年延長による特例債の予算規模は、どの程度か？計画の内容について。 ② 公共施設等総合管理計画との整合性をとらえた計画となっているのか？ ③ 新市建設計画時の100人委員会のメンバーをピックアップして意見を聞いているようだが意見の内容について。
		2. 合併10年新たな都市形成の必要性について	(1) 市の核となる都市整備の在り方が問われている	① 3つの町が合併し、8万人の市として将来に向け発展する都市整備の在り方を進めていく必要があると思われるがどの様に考えているのか？ ② 新しい仮称朝日大橋の開通が近くなり289号線・新庁舎・116号線などを踏まえた都市機能の面的整備を含めた農振除外の在り方について。
		3. 厳しさを増す地場産業・農業の実態について	(1) 商工業の最新の状況について	① 商工会議所、商工会の加盟状況について、この数年間の推移について。 ② 倒産・廃業件数について。 ③ なぜ商工会は、1つにまとまらないのか？予算を有効に使う為にも一本化する必要があると思うが如何か？市の考えと指導体制について。
			(2) 農業の最新の状況について	① 急激な米価の下落で大規模生産農家や生産組織が苦しんでいると聞いているが実態把握をされているのか？経営難の経営体数を把握できているのか？ ② 政府の成長戦略に農業が大きく取り上げられているが、若者が全く関心を示さない内容と言わざるを得ない。目先だけの戦略だと見透かされている。燕市は、農業という産業に対する独自の成長戦略をどの様に構築していくのか？
		4. 公式戦の出来るサッカーコートの必要性について	(1) 子供達の夢を叶える土壌作りである行政の役割について	① サッカーをしている子供達にとって公式戦の出来る夜間照明付きのサッカーコートを長い年月要望しているがどの様に考えているのか？ ② 世界的なサッカー人気で子供達のサッカー熱も大きくなっているが野球や他のスポーツと比べ競技場の整備が大幅に遅れを取っていると思われるが今後の方針について。
7	山本 知克 (一括質問方式)	1. 健康維持のため病気の早期発見について	(1) 燕市の年齢構成と要介護者数について	① 予想される、大介護時代を前に市民の年齢構成及び動向と、要介護者出現率と予想される要介護者数を今後10年間の予測について伺います。 ② 健康年齢を延ばし安全で健康な市民生活を送るために、今まで行ってきた事、考え、方針、政策について伺います。

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
7	山本知克 (一括質問方式)		(2) 国民健康保険加入者が受けている健康診査について	①受診率が40歳～75歳までの特定(1)年齢層40歳～75歳、国保加入者全員対象の受診率が、H24(37.6%)H25(43.1%)と低く国保加入者の希望受診者、特定(2)年齢層19歳～40歳未満受診者H24(45.5%)H25(50.25%)の検診率が低いように思われるが受診率UPについて、今後の方針、対応策について伺います。 「案内時期と、受診時期・場所と交通手段・重要性の周知など」 ②資格証明者を含む国保未納者の検診について、状況と周知はされているかどうか、検診は行われているかどうか伺います。
			(3) 健康意識向上について	①各家庭で日常の健康管理意識を高め、血圧測定と検温を行い、要介護・要支援の原因となる脳血管疾患、認知症等の発症を防ぐため、実行中の指導及び成果について伺います。
		2. 磨け輝け元気プランつばめについて	(1) 事業の成果と今後の課題について	①それぞれの現在の活動状況と、成果、問題点、H29年までのスケジュール、各活動への参加者数の増加へ向けての取り組みについて伺います。
		3. 高齢者世帯の対応について	(1) 高齢者の一人世帯と老々世帯について	①一人暮らしの方や老々世帯が増えており、コミュニケーション能力維持、認知症の発生を防ぐために、訪問指導及び訪問者の養成や心の相談者要請について現状と周知について伺います。
8	齋藤信行 (一括質問方式)	1. 農業問題について	(1) 燕市の農業対策について	①今の農業の現状を市はどのように把握しているのか伺います。 ②市が他の自治体より、ここの部分に対しては優れていると思う農業対策がどのように行われているのか伺います。 ③今後燕独自の農業対策をどのように考えているのか伺います。
		2. 道の駅久賀美のトイレについて	(1) 新しく作られるトイレについて	①道の駅久賀美に新しく作られるトイレに燕の加工技術を取り入れることはできないか。例えば他の観光地などでは、その土地の焼物(陶器など)で洗面器や便器などでトイレを作って、その土地のものをPRしているが、道の駅久賀美のトイレも燕の金属加工でできないか伺います。
		3. 燕のPRについて	(1) 燕の工業、農業のPRについて	①燕三条地場産業振興センターの物産館を外国人観光客を見据えた中で、免税店化していくという方向だが、燕の対応について伺います。 ②他の農産物を含む観光関連施設、及び観光イベントなどでの今後の方向もお伺いします。 ③今まであった町田及び両国のようなアンテナショップの考えはあるのか。

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
9	白井 文雄 (一括質問方式)	1. 少子化対策について	(1) 2040年問題について	①たまたま、本市は消滅する市に該当していなかったが何れは本市も消滅する市町村の中に該当するのではないかと。市は、この問題をどのように捉えて今後の少子化対策を行うつもりか。
			(2) 今まで行ってきた少子化対策の効果について	①いろいろな施策を講じてきたが、費用対効果はどのように評価しているのか。
			(3) 市役所内への結婚相談所の開設について	①民間の結婚相談所は入会金や紹介料などの出費が嵩むことから敬遠される。情報管理については市はしっかりしているので、一部を利用して、本人の了解も得たうえで、結婚(婚活)相談所の開設を考えてみてはどうか。
		2. 消費生活センターの設置について	(1) 消費被害の相談件数について	①被害件数が減少することのない悪質商法の被害について、燕市は悪質商法などの消費生活に掛かる相談件数が多いと聞き及ぶが、どのくらいの相談が市に寄せられているのか。
			(2) 消費被害の実態について	①消費被害の実態額はどのように推移しているのか。警察との連携はどうなっているのか。
			(3) 相談対策、消費啓発、消費者センターの開設について	①市役所内には消費生活を相談する専門の担当を配置していないが、他市では消費生活サポーターなどの専門相談員を配置して苦情相談や啓発を行っている。担当窓口の設置は県も市に働きかけているようだが、何故、市は対応を急がないでいるのか。他市の開設状況はどうなっているのか。
		3. 市職員の再就職について	(1) 退職した職員の再就職先について	①退職職員の再就職先をなぜ公開しないのか。
			(2) 部課長を優先的に再就職させるメリット、就業後のケアについて	①管理職員を優先的に斡旋しているが、管理職以外の職員も就職を斡旋してはどうか。一般職員も実務に堪能なのではないか。また、就業後の指導はどうしているのか。何か問題はないのか。
		10	渡邊 広宣 (一問一答方式)	1. 減少社会の対応について
(2) 減少社会におけるまちづくりについて	①社会生活機能の地域間による補完構築について。 ②サービス合戦ではなく、真に安心・安全に生活できる地域づくりについて。 ③従来の右肩上がりの社会経済の視点から減少幅を極力抑え、その前提とした希望ある未来の方策について伺う。			

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
10	渡邊 広宣 (一問一答方式)	2. 教育行政について	(1) 改正地方教育行政法について	① 来年4月1日施行の改正地方教育行政法をどう受けとめているか。 ② 現行と改正後の相違点についての認識とその対応について。 ③ 首長と教育委員会との関係・距離感の捉え方を伺う。
			(2) 教育現場の現状について	① いじめ、児童虐待数について燕市の件数と対前年比について。 ② 幼児教育・保育と義務教育との連携について。 ③ 家庭教育・しつけと学校教育・生活との関係とその限界について。 ④ 家庭環境(子どもの貧困率、家族形態)の学力面と生活態度の関係について伺う。
11	渡邊 雄三 (一問一答方式)	1. 都市計画について	(1) 市役所周辺の土地整備について	① 都市計画マスタープラン基本条例には、概ね20年後の平成37年市役所周辺を含めた将来像を確立し、地区別の或るべき姿や整備方針を定めるため都市計画マスタープランを市民の皆さんと行政が協働で作成した。とあるが、具体的に現在平成37年に向けてどのような整備方針を検討されているのかを伺います。
		2. 財政基盤の確立について	(1) 広告事業による自主財源確保について	① 新たな自主財源確保の一つとして広報誌、ホームページへの広告利用の拡大とともに、公用車、市所有施設への広告掲載を提案したいがお考えを伺います。 ② 現在実施している広告掲載の種類と件数。 ③ 種類別の広告収入。
		3. 高齢者福祉について	(1) 定期巡回・随時対応サービスについて	① 団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、燕市も地域の特性や、実情に応じた地域包括ケアシステム構築へ向けた取り組みが進められていると思うが現状と今後の取り組みについて伺います。 ② 今後在宅介護が大きな役割を果たすと思うが考えを伺います。 ③ 24時間定期巡回・随時対応サービスについて現状と今後の取り組みについて伺います。
12	土田 昇 (一問一答方式)	1. 農業問題について	(1) 米価対策について	① 農家の方々は過去に経験したことがないほど今年の米価は大暴落してしまいました。今年度から経営所得安定対策費も10a当り15,000円から半額の7,500円に削減され、さらに米価変動補填交付金も事実上廃止されて、まさに農家経済は厳しい状況になっています。今でさえ生産費を大幅に下回っている中で、多くの農家の方々は来年度の再生産に向けて大きな不安を持っています。国・県の動向を見ながら、市としての対策を考えていかなければならないと思うが、市長の見解について伺う。(市独自で農家経営を支援する対策、融資等々も含めて検討する時と思う。その点についても伺う)

(次ページへ続く)



発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
12	土田昇 (一問一答方式)			②11月29日付けの新潟日報の報道によれば、新潟県は14年産に比べて1万4,350トン、2.7%減の52万1,290トンで、現行の配分方法が始まった04年以降で最低となったと報道されたが、県内の市町村別生産数量の目標は、行政やJA関係者による「県農業再生協議会」での議論を経て県が12月下旬に決し、来年の2月ごろ農家配分するとしているが、この点について農家の方々は大きな不安を持っています。燕市の農家を守る立場から市長の見解について伺います。(予定としてどれぐらい多くなるのか見込みも伺います)
		2. 国保税の問題について	(1) 現状課題と今後の課題点について	①燕市の国保は、所得100万円以下の世帯が6割前後を占めています。そのような中で昨年度は1世帯平均18%も大幅に国保税が引き上げられました。その間一般会計からの繰入で負担を軽減すべきと申し上げてまいりましたが、結果的には実現しませんでした。その結果とうとう新潟県内で南魚沼市(196,834円)、燕市(180,971円)と県内で2番目の高さとなってしまいました。その点についてどのような認識か伺うと同時に、今後の対応と見通しについて伺います。 ②国保の世帯数と今後の見通し、国保の基金の金額と今後の見通し、収納率と滞納繰越の金額(徴収機構の徴収も含めて)、資格証、短期保険者証の件数も伺います。
		3. 大河津分水路の改修事業について	(1) 市が対応する部分はどうか	①大河津分水路の抜本的改修について、左岸側掘削の方針として長岡市議会に説明されたと報道されたが、燕市に対しても説明があったのかどうか伺うと同時に、広報等々で説明する時期に来ていると思うがどのように考えているか伺う。(道路や残土等々の問題も含めて伺う)
13	堀勝重 (一括質問方式)	1. 福祉の充実について	(1) 福祉施設の充実について	①特別養護老人ホームの設置状況及び待機者の状況について伺う。 ②特別養護老人ホームについてどのような検討をされているのか、市の考えを伺う。
		2. 少子化対策について	(1) 対策事業の実施について	①少子化対策における官民協働事業について、市の考えを伺う。
		3. 定期露店市の充実について	(1) 活性化について	①露店市の充実について、市の考えを伺う。 ②燕、吉田、分水各定期露店市のPRについて、市の考えを伺う。
14	小林由明 (一問一答方式)	1. 安全安心なまちづくり、まちそだてについて	(1) 旧高橋書店建物が及ぼす、地域住民への危険について	①燕市宮町に存する4階建鉄骨造延べ床面積約460㎡の建物および、それに接する木造建築物擁する旧高橋書店はその老朽化が著しく、今年の春ころには建物部材の落下により隣家屋根を損壊し、また、重さ数キロもある多数のコンクリート片が隣接地に落下するなど建物の崩壊が始まっている。 最近では、通学児童や買い物客、地域住民が多数通行する市道へ、建物の一部が落下しはじめ、地域住民の生命を脅かす極めて危険な状態である。 市民の生命に関わる極めて重大な状況を、市はどのように考えているのか伺いたい。(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
14	小林 由明 (一問一答方式)			②財産権の侵害という観点や、住民の責任放棄による類似案件の続出、撤去費用の回収が見込めないことなどを懸念し、市役所として撤去することを躊躇することは理解できるし支持するが、事ここに至っては、住民の生命財産を守るために、市役所として当該建物を撤去するより他ないものと考えているが、市はどのように考えているか伺いたい。
		(2) 管理不全建物や、保安上危険な建築物を減らすための期間集中的取り組みについて		①空き家では無い等の理由から、条例上の管理不全建物の認定されていない建物も含めると、管理不全による危険な建物が市内には多数あると感じている。 市内にある危険な建築物の実態を把握しているか。 ②管理不全建物および保安上危険な建築物を無くす取り組みを短期集中で取り組み、市内住環境の安全安心の実現と、まちの再生に取り組むべきと考えるが、市の考えを伺いたい。
		(3) 管理不全に至らせないための取り組みについて		①管理不全に至らせないことが何より重要であると考えているが、市はどのように考えているか。 ②地域住民や不動産所有者が、気軽に相談できる仕組みをつくることはできないか。
		(4) 平成26年11月9日の燕市総合防災訓練について		①平成26年11月9日開催の燕市総合防災訓練について、その目的と成果について伺いたい。 ②今後の防災訓練のあり方を、どのように考えているか。
		(5) 住民への情報伝達について		①防災行政無線に求める効果効用について、市はどのように考えているか ②防災行政無線以外の方法による、住民の情報取得手段を定着させる必要があると思うが、市はどのように考えているか伺いたい。
		2. 胃がん死撲滅に向けた取り組みについて	(1) 胃がんリスク検診について	①今年度より、新潟県内初の取り組みとして胃がんのリスク検診を燕市は導入し、約半年の取り組みではあるがその成果は顕著であると聞いている。 取り組みの成果を伺いたい。 ②現在、当該検診対象年齢は40才から5才刻みに65才までとなっているが、今後、検診の対象年齢を広げることが、さらにその成果を向上させるものと考えているが、市の考えを伺いたい。
		3. 公職選挙について	(1) 移動困難者や外出困難者の投票権行使の機会確保について	①投票所への移動が困難な高齢者や障がい者等の、投票権行使の機会を確保するための方策はあるか。

発言の順序	発 言 する 員	質問項目 (大項目)	質問要旨 (中項目)	具 体 的 な 内 容 (小項目)
15	吉田 勝利 (一括質問方式)	1. 高齢化社会と交通手段について	(1) 燕市循環バス「スワロー号」の停留所の増設について	<p>①高齢化社会と車社会とは、毎日の生活の中で密接なつながりがあること、そしてその利用率が高いことは誰もが理解していることと思います。特に高齢者となると、車の運転をしない免許証の返納をすとかで、バス利用が多くなっているようです。</p> <p>ところで、現行の「スワロー号」を利用して街へ出かけていこうとすると、花園町・次新・児ノ木・四ツ屋・中川などからは、燕労災病院前の停留所が一番近いところ です。高齢、体調、体力の面から考えても遠くて、「スワロー号」は利用しにくいバスでしかありません。花園町集会所または小中川小学校付近に停留所の増設をしてもらえると、利用者も増えるのですが。</p> <p>②循環バスの決まった経路の不便なところを解消し、補うための「きららん号」が運行されておりますが、現在その役割を十分果たしていると思われませんか。予約の取りにくさを強く訴える人がかなりおられます。病院の予約は前もってわかるけど、天候の状況や気持ちや気分が乗ってきて、たった今老人福祉センターのお風呂に行こうとか買い物へ行きたいと思ってもなかなか予約が取れず、利用できないとのこと です。「きららん号」の台数は増やせるのでしょうか。</p>
		2. 側溝に溜まる汚水や汚泥の件について	(1) 団地も古くなると、地盤が弛んで側溝に汚水や汚泥が溜まりやすくなる	①花園町の造成が完了したのが昭和49年で、それから40年以上も経ちました。最近、地盤の弛みがあちこちで起こり、側溝に汚水や汚泥が溜まり、夏場は悪臭や蚊など害虫の発生で大変困っているとの苦情が寄せられています。最近の地球温暖化による異常なほどの大雨の影響も大きいと思っております。弛み、沈下し始めた側溝の改修を早くやっていただきたいと思っております。
		3. 新商品新技術開発支援事業について	(1) 申請状況と交付決定の製品販売実績について	<p>①支援事業の状況についてお聞きします。ここ5年間の年ごとの申請件数と交付決定数はどうなっていますか。申請されたものは、第三者である審査会でその内容を慎重に審査し、交付の決定をしていることと思っておりますが、申請者側から見て交付決定に至らなかった場合、なぜそのような残念な結果になったのかの問い合わせはありませんでしたか。一方で、交付決定されたものは、はっきりとその形がデザイン・企画・技術・市場性・地場への波及効果の総合観点からの審査結果であることから、実績報告は大事なことであります。図面はどのようなか金型はどのようなか、そして試作品の確認等が必要なこととなりますが、担当職員の方は技術等専門条件の部分を確認することは大変なことと思われませんが、その点はどのようにされていますか。補助金交付のための大切な確認作業ですが、試作品の保管は現在どのような状況になっていますか。また、補助金交付されたものすべてありますか。</p> <p>②地場への波及効果の面からお聞きいたします。交付決定された案件で市場に出たものは何件ありましたか。これらの補助金交付された金型が外国に持ち出されるようなことがあっては困りますし、金型は何年保管されるのでしょうか。総合的審査の大事な点のひとつも考えられます。</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
16	大岩勉 (一問一答方式)	<p>1. 県央基幹病院について</p> <p>2. おひさまプロジェクト事業について</p> <p>3. 選挙管理委員会の業務について</p>	<p>(1) 基本構想の協議の進捗について</p> <p>(2) 遅れに遅れた病院再編事業の進捗について</p> <p>(1) 太陽光発電「屋根貸し」事業について</p> <p>(2) 再生可能エネルギーの買い取り契約の受付中断について</p> <p>(1) 候補者届出の事前審査を行う理由について</p> <p>(2) 開票作業は、効率的に行われたのか</p> <p>(3) 市議会選挙の投票率の結果について</p>	<p>① 県央圏の救急医療体制の確保は喫緊の課題であり、議論を進め、次の段階に進んでいるのか伺う。</p> <p>② 13年度中に診療科目や運営主体などを盛り込んだ基本構想を決める方針は、その後協議されたのか伺う。</p> <p>③ 三条総合病院を運営する「JA県厚生連」と燕労災を運営する「労働者健康福祉機構」との協議は進んでいるのか伺う。</p> <p>① 燕市民からは強い要望で、一日も早い救命救急センター併設の基幹病院建設が切望されていることについて伺う。</p> <p>② 燕労災病院に併設となった場合、燕市は全力で小高・佐渡・小牧地区の地権者協力に向けた努力をするべきと思うが伺う。</p> <p>① 民間施設の事業社数は何社で、屋根面積の総㎡数と、発電能力のkW数を伺う。</p> <p>② 公共施設の事業社数は何社で、屋根面積の総㎡数と、発電能力のkW数を伺う。</p> <p>① 電力各社が、再生エネルギーの買い取り契約の手続きを相次いで中断しました。おひさまプロジェクトに対する影響を伺う。</p> <p>② 買い取り費用は、電気料金の一部として、使用量に比例して国民が負担しており、買い取り価格は年々値下がりしている現実について伺う。</p> <p>① 候補者届出の事前審査を行う理由を伺う。</p> <p>② 封印したものを開封した訳を伺う。</p> <p>③ 受付処理に時間を要した訳を伺う。</p> <p>① 市議会選挙の開票作業終了時間と22年度の終了時間を伺う。</p> <p>① 市議会選挙の投票率の結果について伺う。</p> <p>② 期日前投票所へのシャトルバス利用者は、1回に何人乗車されたのか、乗車合計人数を伺う。</p> <p>③ 期日前投票所の増設を燕市民は期待しております。対策をとられるか伺う。</p>
17	宮路敏裕 (一問一答方式)	1. 地方をとりまく景気動向について	(1) 消費増税の先送りと今後の動向について	<p>① 7～9月期の国内総生産の低下が明らかとなり、日本経済は、景気悪化の「悪循環」に陥っている。これは消費税8%増税が引きがねとなった「増税不況」といえるのではないかと、認識を伺う。</p> <p>② 2017年4月には景気の動向如何に関わらず増税を実施する。そのため消費税法の「経済条項」の削除を検討しているといわれるが、最悪の地方いじめ、切り捨てといえるのではないかと。燕市として増税の中止を求めていくべきではないかと、認識を伺う。</p>

(次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
17	宮路 敏裕 (一問一答方式)		(2) 小規模事業者を応援する施策について	①全国で注目され地域循環型経済施策として、実績をあげている「商店版リフォーム助成制度」について、小売店主や飲食・サービス業者などに市として意見やニーズを聞くことや、燕市に相応な助成制度の創設を求めるが、いかがか伺う。
		2. 公民館の改修、整備について	(1) 利用者本位の利便性向上のために	①高齢者をはじめ、公民館の利用・活用について期待する住民は多い。藤の曲公民館では敬老会が催されたが、3階ホールの会場まで上がれないので欠席したという声が周辺町内住民から多数聞かれた。「エレベーターを設置してほしい」などの多数の住民の声に応えるべきではないかと思うが、いかがか伺う。
18	山崎 雅男 (一問一答方式)	1. 農業情勢について	(1) 農業政策について	①昨今、高齢化や担い手不足等、厳しい状況下に直面しているが持続可能な力強い農業を実現するためには、本市として基本となる人と農地の問題を一体的に解決する必要がある。その為の中長期計画である「未来の設計図」の人・農地プラン(地域農業マスタープラン)の進捗状況はどうなのか伺う。 ②農地集積協力金・スーパーL資金・経営体育成支援事業の該当者数そして青年就農給付金の申請と給付状況の実態はどうなのか伺う。 ③担い手不足解消に向けて、新規就農者の雇用促進も必要であるが、今日の農業を支えている意欲ある高齢者世代の生産農家に新規就農者育成と自身の健康増進に対するの施策を取り組む事は出来ないものか。 ④農地所有者である農家、非農家の遊休・耕作放棄農地の実態と今後、抜本的な解消に向けて本市の対策について伺う。
			(2) 農地中間管理機構(農地集積バンク)の取り組みについて	①農地中間管理機構(農地集積バンク)による農地の集積・集約化に向けての取り組み状況と本市としてどのように応じて行く考えなのか方向性について伺う。 ②農地中間管理機構の設置に伴い、農地利用集積円滑化事業への影響はどうなるのか。 また、従来の農地保有合理化法人制度の廃止により、これまでの役割と実績をどのように評価されているのか伺う。
		2. 市民に対する接遇サービスの向上について	(1) 市民への窓口・電話対応に於ける課題と取り組みについて	①市職員は、市民に対する接遇態度の向上を図り、常に住民サービスを向上させることを念頭に置き、職務を遂行する必要があると思われる。 窓口サービスの向上は、即市政に対する市民の信頼に直結すると思うが、市民満足度を高める為の窓口・電話対応に於ける課題と窓口サービス向上に向けての取り組み状況について伺う。 ②市民ニーズは多様化・高度化しており、複雑化する法制度、関連業務の増加等、職員の業務内容もより一層専門化する傾向にあり、行政職員としての質の高いサービスが求められている中で、思いやることのできる感性と優しさ、そして市が市民の為にどれだけ真剣に対応しているかに掛かっていると思われるが、見解を伺う。 (次ページへ続く)

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
18	山崎 雅男 (一問一答方式)	3. 在宅障がい児・障がい者を介護する支援について	(1) 重症心身障がい児・障がい者に対する支援について	<p>③市民からの市役所への各種相談、申請等(障がい福祉担当)に対する対応、接遇を市民に満足いただける水準まで高める為の方策について伺う。</p> <p>①重症心身障がい児・障がい者の在宅で生活していく環境は厳しく利用できるサービスも限られているが、在宅の障がい児・障がい者についての介護現場の状況について行政の手が入りきれてない課題が少なからず多いかと思われる。 介護している家族の方々へのきめ細やかな相談支援体制の確立が重要であると考えているが、本市の実態と重症心身障がい児・障がい者が安心して地域で過ごせるための取り組み状況と対策について伺う。</p> <p>②重症心身障がい児・障がい者を抱える家族に対しては、介護家族に一時的な休息を意味するレスパイトケア等の充実が求められるが所見を伺う。</p>
19	山崎 光男 (一括質問方式)	1. 市長の考える3つの人口増戦略について	(1) 定住人口の増加について	<p>①6月17日、第2回定例会の所信表明で、「人口の社会減についてはなんとしても歯止めをかけ」と述べておられるが、燕市の人口は最近では転入より転出が多く、少しずつ減っている事実をどう考えているか伺う。</p> <p>②「できれば増加に転じていくことを目指していくべき」とあるが、新潟県でも聖籠町のように人口増加に転じている自治体がある。燕市ではどのような施策を考えているか伺う。</p>
			(2) 活動人口の増加について	<p>①健康づくりの面について、春には燕マラソンというマラソン大会がある。以前は吉田地区にもマラソン大会があったが、復活できないか？もう一つ三条市では、元旦にマラソン大会を開催しているが、燕市でもできないか伺う。</p> <p>②社会活動について、新潟県では燕市を中心にプレイされているご当地ボードゲーム「カロム」がある。燕市内の小学校にも置かれており、老若男女誰でも楽しめるのが魅力だが、そのゲームをもっと市内外に発信できるように市もバックアップできないか伺う。</p>
			(3) 交流・応援人口の増加について	①交流・応援人口について、「燕市の魅力を全国に発信し」とあるが、今年度はどんな取り組みをしたか？来年度はどんな取り組みを考えておられるか伺う。
		2. 燕市の議員報酬について	(1) 燕市の議員報酬について	①燕市の議員報酬額29万1,600円は、県内20市中14位で、7万人以上の都市では全国最低の水準である。市長はこのことについて、どう思っているか伺う。
20	タナカ・キン (一問一答方式)	1. 公害防止対策について	(1) 花見・桜町・杣木地域他での悪臭防止対策について	<p>①花見・桜町地区の住民から、時々ものすごい悪臭が漂ってくるとの苦情が寄せられた。 私も杣木のスーパーで買い物をしている時、すごく臭うことがある。同じ悪臭と考えられる。悪臭のする地域の範囲について、また悪臭の発生源についてお聞きします。</p> <p style="text-align: right;">(次ページへ続く)</p>

発言の順序	発言する議員	質問項目(大項目)	質問要旨(中項目)	具体的な内容(小項目)
20	タナカ・キン (一問一答方式)	2. 指定管理者による管理について	(1) 交通公園について	<p>① 9月にゴーカート乗り場で事故があり、お客さんがケガをした。救急車で搬送されたが、幸いケガは軽かったようだ。新聞報道も無かったが、市の方へは報告はあったのか。</p> <p>② 事故に対する検証は行われているか。事故が起きない対応策は。</p> <p>③ 公園内の雑草に除草剤をまいていると聞いたが、本当か。いつからまいているのか。</p> <p>④ 自転車のタイヤの溝がすり減っているものがあるが、その整備は市の責任か、指定管理者の責任において改善されるのか。</p>
		3. 燕市議会議員選挙について	(1) 投票率について	① 10月26日の市議選の投票率は50.04%で、旧燕市時代を含めても過去最低の結果であった。これについて市の見解を伺います。
			(2) 脱法と思われる文書について	① 選挙期間中に花見・桜町で脱法と思われる文書が配られ、私の支持者から「家にこんな物が入っていた」と手元に届けられた。この文書を選管に持っていったが、その候補者及び関係者に対して、どのような注意・指導がされたのか？
			(3) ポスター掲示板の位置について	① ポスター掲示板の位置が適切と思えないが、現在の位置は、いつ決められたものか？
			(4) 期日前投票について	① 期日前投票所が、燕市役所つばめホール1ヶ所で、無料シャトルバスを運行しての対応であった。シャトルバスの本数・利用者数及び経費をお聞きします。
			(5) 立候補受付について	① 市長選や県議選・国政選挙と違い市議選は、立候補者が多い。手際の悪さが感じられたが、受付の職員の人数は何人増員しているのか。
		4. 燕市新型インフルエンザ等対策行動計画(案)について	(1) 新型インフルエンザ対策について	<p>国の行動計画では、最悪、全人口の25%が罹患し、流行が約8週間続くと仮定している。その場合、全国で約17万人～約64万人が、燕市でも約100人～約400人が死亡すると推計している。正にパンデミックである。</p> <p>① 今後市民には、どんな方法、また内容を周知していくのか。</p> <p>② 発生してから、有効な薬が開発されるのはどれくらいか。</p> <p>③ 有効な薬が開発されたとして、国はどの程度備蓄できるか。</p> <p>④ 国は、平成17年に「新型インフルエンザ対策行動計画」を策定していたということだが、その時の内容、そして国がとった対策についてお聞きします。</p>
		5. インフルエンザワクチンについて	(1) 有効性と安全性について	<p>① 以前は、小・中学校で集団接種が行われていたが、現在は個別接種である。いつ、どういう理由で変更されたのか。</p> <p>② インフルエンザ・ワクチンは、効かないと訴え続ける専門家がいる。この発言についての見解をお聞きします。</p>